

個別事業説明書【PR版】

農 林 水 産 部

1 防災・減災、国土強靱化の推進等事業 (農林水産部)

令和8年度6月補正予算(案)
予算額 636,352千円

国の「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づく施策等を活用し、かんがい排水施設やため池等の整備、治山対策及び森林整備の実施、漁港施設の機能強化などによる防災・減災対策の推進を図り、県民の安全・安心を確保する。

お問い合わせ先
農林水産部

農業振興局 農地整備課 (089-912-2535)
森林局 森林整備課 (089-912-2595)
水産局 漁港課 (089-912-2625)

指標

施策

KGI

別紙のとおり

現状値

別紙のとおり

目標値

細施策

KGI

別紙のとおり

現状値

別紙のとおり

目標値

事業イメージ

KPI

別紙のとおり

現状値

目標値

別紙のとおり



【かんがい排水施設整備】



【林野火災跡の治山事業】

県民の安全・
安心の確保



【ため池整備】

大規模災害に備えた
防災・減災対策の推進



【漁港の機能強化】

事業概要

○国の「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づく施策等の活用

1 農業生産性向上に向けたかんがい排水施設等の整備

農業水利施設の保全及び農道の整備等により、農業用水の安定確保や農業生産性の向上、営農条件の改善を図る。

223,426千円【農地整備課】

2 災害の未然防止に向けたため池の改修や耐震対策

老朽化や耐震不足で危険な状態となっている防災重点ため池などの改修や耐震対策等を実施し、ため池の防災対策の加速化を図る。

137,550千円【農地整備課】

3 森林の適正管理・保全に向けた森林、治山施設等の整備

谷止工などの山地防災対策を行うことによる健全な森林の維持造成や、各種森林施業への支援による森林の適正な管理を図る。

238,535千円【森林整備課】

4 地震、津波や施設の老朽化に対する安全性確保に向けた漁港の整備

自然災害や大規模な地震・津波に対応した漁港施設の機能強化を行い、漁港及び背後集落の安全確保を図る。

36,841千円【漁港課】

防災・減災、国土強靱化の推進等事業 (農林水産部)

指標

施策	細施策	事項名	KPI
17: 農林水産業の生産振興 KGI 農業産出額 現状値 1,337億円 (R6年) 目標値 1,200億円 (R8年) KGI 林業・木材産出額 現状値 577億円 (R5年) 目標値 430億円 (R8年) KGI 漁業産出額 現状値 1,153億円 (R6年) 目標値 900億円 (R8年)	17-9: 生産基盤の保全・整備 KGI 農林漁業の生産基盤整備率 (単年度) 現状値 73.4%(R7年度) 目標値 100%(R8年度)	かんがい排水事業費 (農地整備課) 広域漁港整備事業費 (漁港課)	KPI 農業水利施設の保全・整備完了面積 現状値 9,515ha(R7年度) 目標値 10,000ha(R8年度) KPI 整備完了により、地震・津波に対する安全性を確保した漁港数 現状値 8漁港(R4～7年度累計) 目標値 10漁港(R4～8年度累計)
29: 大規模災害に備えたまちづくり KGI 災害想定死者数 現状値 16,032人(H25年) 目標値 2,439人	29-6: 農山漁村地域の防災対策 KGI 農山漁村地域の災害死者数 現状値 0人(R7年度) 目標値 0人(R8年度)	ため池防災・減災対策事業費 (農地整備課) 山地防災治山事業費 (森林整備課)	KPI 下流への被害が防止された防災重点ため池割合 現状値 83%(R7年度) 目標値 84%(R8年度) KPI 土石流等による2次災害の発生防止対策がされた箇所数 (県営) 現状値 26か所(R7年度) 目標値 20か所(R8年度)
37: 自然との共生 KGI 県土における自然環境エリア (自然公園、鳥獣保護区、里地里山等) の割合 現状値 10.1%(R7年度) 目標値 20%(R8年度)	37-3: 農山漁村が有する地域資源の保全 KGI 農山漁村が有する地域資源の維持に向けた活動面積 (森林、農地、水路) 現状値 21,395ha(R6年度) 目標値 22,000ha(R8年度)	造林事業費 (森林整備課) 花粉の少ない森づくり事業費 (森林整備課)	KPI 森林整備実施面積 (当該年度) 現状値 2,075ha(R7年度) 目標値 2,000ha(R8年度) KPI スギ人工林等の植替え面積 現状値 84.6ha(R7年度) 目標値 80.0ha(R8年度)

2 経営体育成支援事業費

地域の中核となって農地を引き受ける担い手が、経営改善に取り組む場合に必要な農業用機械・施設の導入を支援することで、地域農業の維持・発展を図る。

お問い合わせ先
 農林水産部農政企画局
 農政課
 (089-912-2510)

指標	施策	17 農林水産業の生産振興 KGI 農業産出額	現状値 1,337億円 (R6年) 目標値 1,200億円 (R8年)
	細施策	17-4 農業の生産振興 KGI 主な農産物の生産量 (各振興計画に記載のある主要品目)	現状値 315千t (R7年度) 目標値 338千t (R8年度)

事業イメージ	KPI	当事業で支援した担い手が設定した成果目標の達成状況 (令和8年度成果目標を達成する担い手100%を目指す)	現状値 - 目標値 100% (R8年度)
--------	-----	---	--------------------------

地域計画(※)のブラッシュアップを通じて、地域の将来を支える担い手や、地域が抱える課題が明確化

地域の中核となって農地を引き受ける担い手が経営改善に取り組む場合に必要な農業用機械・施設の導入を支援

<対象者>
 地域計画に位置付けられた担い手 (認定農業者、認定就農者、集落営農組織、市町村基本構想に示す目標所得水準を達成している農業者)

<対象地域>
 地域計画の目標集積率が6割以上 (都府県の中山間地域は5割以上) 又は現行の地域計画か、ブラッシュアップ後の地域計画において、目標集積率が現状の集積率よりも10ポイント以上増加する姿となること

地域農業の維持・発展

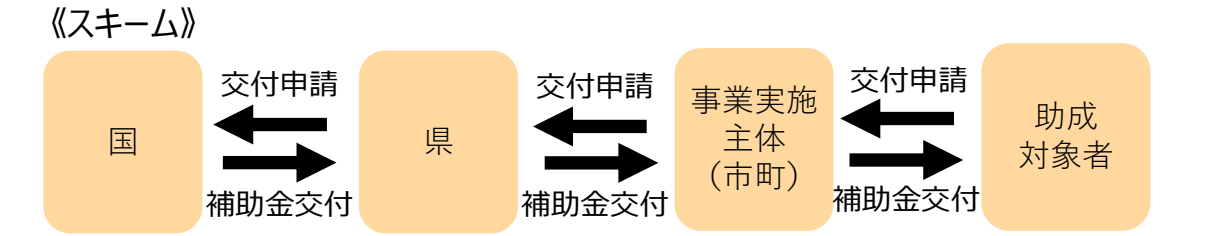
※地域計画とは：
 農業者や地域のみなさんの話し合いで作る、将来の農地利用の姿を明確化した地域農業の設計図

事業概要

経営体育成支援事業 25,704千円
(国費25,704千円)

地域の中核となって農地を引き受ける担い手が経営改善に取り組む場合に必要
 な農業用機械・施設の導入を支援する。

- 1 補助対象者**
 地域計画に位置付けられ、地域の中核となって農地を引き受ける担い手
 【成果目標：①～③から選択】
 ①経営面積の3割又は4ha以上の拡大、②付加価値額1割以上の拡大、
 ③労働生産性3%以上の向上
- 2 対象地区** ((1)又は(2)の地区)
 (1)地域計画の目標集積率が6割以上(中山間地域は5割以上)の地区
 (2)現行またはブラッシュアップ後の地域計画において、目標集積率が現状の集積率よりも10ポイント以上増加する地区
- 3 補助対象経費**
 農業経営の改善に必要な農業用機械等の導入
 (例：田植機、トラクタ、園芸用ハウス等)
- 4 補助率**
 3/10以内 (補助上限：個人15,000千円、法人30,000千円)





3 麦産地生産性向上支援事業費

品質向上や病害対策、気象変動・生産費上昇への対応などの近年の麦類を取り巻く課題に対し、地域ぐるみで生産性向上に取り組む産地を支援し、県産麦の生産・供給体制の強化を目指す。

お問い合わせ先
農林水産部農業振興局
農産園芸課
(089-912-2565)

指標	施策	17 農林水産業の生産振興	現状値	1,337億円 (R6年)
		KGI 農業産出額	目標値	1,200億円 (R8年)
	細施策	17-4 農業の生産振興	現状値	315千t (R7年度)
		KGI 主な農産物の生産量 (各振興計画に記載のある主要品目)	目標値	338千t (R8年度)

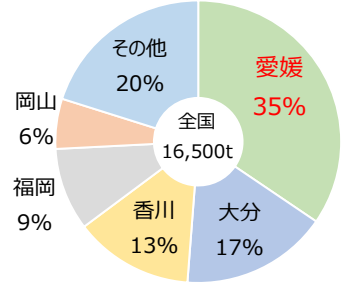
事業イメージ

KPI 麦の生産性向上に取り組む生産者の割合
(事業対象地区において実施率100%を目指す)

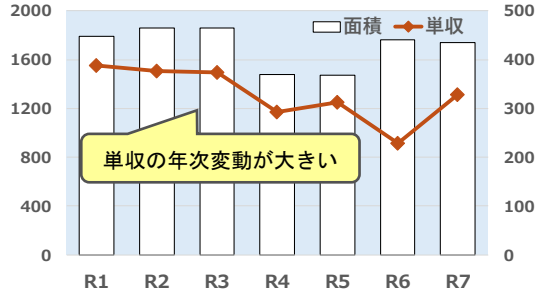
現状値 -
目標値 100% (R8年度)

【現状と課題】

R7年産はだか麦の全国シェア



県はだか麦の作付面積と単収の推移 (kg/10a)



《現状》

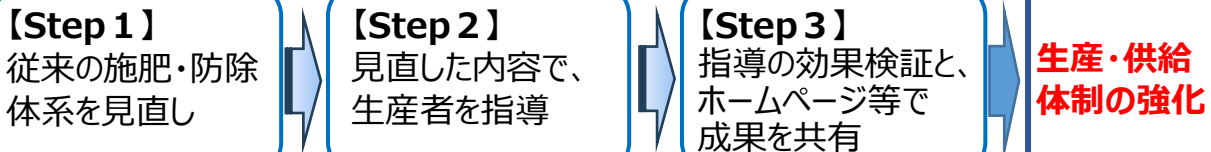
- ◆はだか麦の生産量は39年連続日本一
- ◆麦の作柄は天候による影響を受けやすく、生産量や品質が安定していない
- ◆はだか麦は供給不足の状況(需要>生産量)

《克服すべき課題(取り組むべき事項)》

- ◆収量・品質向上のための肥培管理の徹底
- ◆品質向上のための病害虫、雑草防除の徹底
- ◆湿害対策のための排水作業の徹底
- ◆適期作業・防除による連年安定生産の実現

課題を克服し、日本一の「はだか麦」産地を維持するには...

【対策】 地域ぐるみで施肥・防除体系の構築に取り組み、生産性の向上を図る



事業概要

麦産地生産性向上支援事業

35,819千円
(国費35,819千円)

麦産地における地域ぐるみでの施肥・防除に係る取組を支援することで、生産性の向上を図る。

- 1 補助対象者**
農業協同組合、地域農業再生協議会
(最終的な交付先：麦生産者)
- 2 対象作物**
水田や畑地において作付される麦類
- 3 交付条件** ((1)~(3)全てを実施)
(1)地域の課題解決に向け、施肥・防除体系を確認・検討
(2)確認・検討の結果を踏まえた生産者への指導
(3)事業効果の検証、成果の共有
- 4 補助率**
国：10/10 (10a当たり2,000円以内)
- 5 スキーム**

生産性向上の取組例



適期の追肥作業
適切な時期の肥料散布で収量・品質を確保



ドローン防除
病害の予防と作業時間や労力の削減



土入れ作業
根の量が増えることで肥料効果が向上





4 環境変動に対応した養殖生産対策実証支援事業費

海洋環境の変化に起因する養殖生産の低迷に対応するため、環境変動対策として効果の見込まれる取組であるマガキに関する実証を行う養殖業者を支援するほか、アオノリの人工採苗に関する実証を行う。

お問い合わせ先
農林水産部水産局
水産課
(089-912-2615)

指標

指標	施策	17 農林水産業の生産振興 KGI 漁業産出額	現状値	1,153億円 (R6年)
			目標値	900億円 (R8年)
	細施策	17-7 漁業の生産振興 KGI 漁業生産量	現状値	130千t (R7年度)
			目標値	143千t (R8年度)

事業イメージ

KPI 目論見・ねらいどおりに現場実証の取組が進んでいる項目割合
現状値 -
目標値 100% (R8年度)

【現状と課題】

《現状》

- ◆近年の海水温の上昇等の環境変化の影響を受け、カキ・ノリ等の養殖品目の品質低下やへい死による生産量及び生産額の減少が顕著となっている
- ◆水産研究センター等により、養殖生産の回復に貢献し得る基礎的な知見や技術が、実験室内等での試験レベルで蓄積されてきている

《課題（取り組むべき事項）》

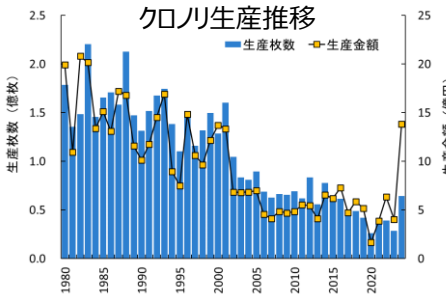
- ◆有効と考えられる対策を漁場等の生産現場で実証し、養殖生産の回復の効果を検証する必要がある
- ◆現場実証の段階においては効果が不明であることから事業者等が取り組むには潜在的に大きなリスクを含む可能性がある

【対策】

環境変動対策として効果の見込まれる現場実証段階の県の取組をさらに進めるとともに、県内事業者の取組に対する経済的な支援を行うことで、課題の解決策を模索する。

水温の上昇状況

海域	年平均変動	測定期間
燧灘	+1.15℃	S48~R7
伊予灘	+0.69℃	
豊後水道	+0.63℃	S57~R7



アオノリ陸上生産



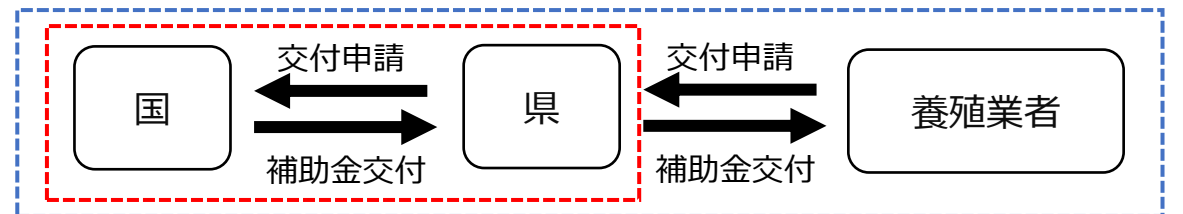
共通の課題を有する県内の各事業者に効果的な手法を提案することで、**県全体の養殖生産の向上**に資する。

事業概要

環境変動に対応した養殖生産対策実証支援事業 **4,908千円**
(国費 4,908千円)

環境変動対策として効果の見込まれる取組を現場実証する

- 3倍体マガキ※人工種苗生産の実証 (2,838千円) 【補助事業】
 - 事業実施主体：民間養殖業者
 - 実施期間：令和8年7~12月
 - 取組概要：専門機関と連携し、県内海域で3倍体マガキの種苗生産を実証
※3倍体マガキとは：産卵しないため夏場に体力を消耗せず、高水温や暑さに強いマガキ
- アオノリ人工種苗生産手法の開発・検証 (2,070千円) 【直営事業】
 - 事業実施主体：県水産研究センター栽培資源研究所
 - 実施期間：令和8年7月~令和9年3月
 - 取組概要：アオノリ人工種苗の低コストかつ簡便な生産手法を開発・検証



□：補助事業 □：直営事業